

地域別 市政フォーラムの結果を報告します

その2 平田地域



▲平田地域11会場で開催した市政フォーラムには、合わせて932人の参加があり、活発な意見交換が行われました(写真は平田地区市政フォーラム 10月24日)

市政フォーラムのおたずねは

広報情報課 ☎21-8578

または

平田支所地域振興課 ☎63-3111

住民の皆さんの意見を今後のまちづくりに生かすために、7月から11月にかけて市内37会場で開催した「地域別市政フォーラム」を開催しました。
今回は、10月に実施した平田地域で出された意見・提案の一部を紹介いたします。
10・11月に開催した出雲地域の結果は、後日報告します。

防災マップについて

防災マップは、10月中旬に完成予定で、完成後はすぐに市ホームページで公開します(現在公開中)。今年度中に地区ごとのマップを全世帯に配布する予定です。マップには、降雨による河川の浸水想定区域と土砂災害警戒区域を載せていますので、ぜひ避難の際などに活用してください。

災害時の情報伝達システムの整備は

災害時には、まずサイレンで知らせることが大事だと考えています。今年度は、平田地域で緊急性の高い8か所に設置する予定です。今後は市全体の整備にも取り組めます。

また、現在ひらたCATV(ケーブルテレビ)、J-Aいずもと連携して、平田地域でケーブルテレビ網を活用した新たな情報伝達システムを検討しています。これは、ケーブルテレビの施設に受信端末(スピーカーボックス)をつなぐシステムです。電源を切っても災害時には自動的に電源が入り、最大音量で緊急情報を知らせます。平成20年度の事業実施を予定しています。

総合医療センター および健康福祉拠点の整備について

総合医療センターに対する市の方針は、市民の皆さまの医療ニーズに迅速に対応できるなど、より柔軟な運営が可能となる「独立行政法人」へ経営形態を移行し、市が責任を持って法人の運営に関わっていく考えです。平成22年度には新棟で診療が開始できるように整備を進めています。

健康福祉拠点の整備については、市民一人一人が住み慣れた地域で安心して生活できるように、健康づくりはもとより、医療、福祉の三位一体となった連携を進めています。

Q 空き家の有効活用と定住対策は
市では、4月から政策課内に定住支援センターを新設し、定住対策に取り組んでいます。空き家対策として、「いずも空き家バンク制度」により空き家の情報提供を行い、売買や賃貸の橋渡しをしています。大社や佐田では、地元で空き家を宿泊可能な施設に改装し、田舎暮らし体験などを実施しているところもあります。住民の積極的な定住への取り組みには、働ふるさと島根定住財団などと連携を図りながら支援していきます。

Q 森林の保全と整備のあり方について
市では、造林事業、ふるさと森再生事業や松くい虫対策、林業の後継者対策などを行い、森林の保全に努めています。今年度から森林資源の有効活用と林業の振興を図ることを目的とした林業3F事業を全国に先駆けて始めたところです。この事業では、川上事業(森林の

生産段階の事業)、川中事業(生産された木材の搬出あるいは流通、加工、製材に対する支援)、川下事業(木材利用の啓発事業)と、大きく3つに分けて支援していますので、ご協力をお願いします。

シカやイノシシなどの有害鳥獣対策は

シカの生息数を調査し、適切な捕獲計画を立てていく考えです。昨年を上回るペースで捕獲を進めており、今後さらに力を入れて取り組めます。また、被害防止対策としては、防護ネットや電気柵などの設置

置費に2分の1の補助をします。シカなどの目撃情報や防護ネットの設置については、支所の産業振興課まで連絡してください。

シカによる健康被害(ツツガムシ病)対策は

シカなどの野生動物に感染するダニに刺されてツツガムシ病や日本紅斑熱に感染します。ダニに刺されても、全員が発病するわけではありません。山に入るときは肌を露出しない、地面に直接座らない、家に帰ったらすぐに服を着替えるといった予防対策を各自でお願いします。もし、山に入った後に高熱が出たら、すぐに病院に行き、山に入ったことを伝えてください。

中心市街地活性化基本計画は

市では、出雲地域の「中核都市拠点地区」と平田地域の「東部都市拠点地区」の2つの中心市街地の計画を作ろうと、国と協議しています。商業振興に関して、地域のコンセンサスや国の支援事業の活用などを取りまとめているところで、国の認定には今しばらく時間が必要と見えています。

雇用の場を確保するための企業誘致計画は

計画の認定に関わらず、必要な事業については、優先度などを地元と相談しながら、まちづくり交付金制度などを利用して進めていく考えです。

企業誘致については、さまざまな優遇策や支援策を設けるなど、積極的な誘致に努めているところです。

さらに、平成22年3月に開通する山陰自動車道のインターチェンジ周辺に、20ヘクタール程度の新たな工業団地「新ビジネスパーク」の整備を計画しており、受け皿づくりを進めています。

新出雲風力発電施設周辺の観光開発や森林整備計画は

現在、出雲市における新工ネルギーを啓発するための「次世代エネルギーパーク整備計画」を策定中です。この中で、新出雲風力発電施設周辺に、新エネルギーに関する学習機能を兼ね備えた公園などの整備計画を定めるとともに、観光産業との連携施策を盛り込むことになり

東部新中学校の整備計画は

中学校の規模は2000人、250人になるため、校舎の構造は鉄筋コンクリート造2階建て、屋内運動場は鉄骨造2階建てになる予定です。

湯谷川改修の完成時期は

東部新中学校の改修は、現在、第2期事業として2、130mの区間について着手されたところです。厳しい県の財政状況から国富がかるかと思いますが、事業が止まっているわけではありませんで、着実に進んでいくと思



シカの防護ネットなどの設置に対する補助申請は年中受け付けています

▲シカに荒らされたキャベツ